

第二十六回「前田純孝賞」学生短歌コンクール・入賞作品一覧

中高校生の部

選者 佐佐木頼綱（「心の花」編集委員・「短歌往来」編集長）

【選評】

応募作品にはコロナ禍で学校行事が中止になったり、部活が突然引退となった辛い思いを詠んだ歌、それでも前向きに頑張ろうという決意の歌が多く、心を打たれながら選考をさせていただきました。思いの詰まった作品が多く選考にあたり悩みました。

前田純孝賞

吹き終わり残響残る音楽空置かれた椅子が音叉のようだ

兵庫県立浜坂高等学校

二年 西岡結菜

【選評】

西岡さんの歌は演奏を終えた教室を描いた作品。演奏前のやる気や緊張感、演奏中を詠んだ歌は多いのですが、演奏後の余韻に着目した歌は少なく、その視点に惹かれました。また音楽は文字と違ってその場、共演者、指揮者があつての表現です。椅子に震えを見ることで、教室での演奏の余韻を上手く表現しました。～ 1

思い出の真つ青な海泳いでる浮き輪の枕と共に寝そべり

兵庫県三田市立狭間中学校

二年 森本陽海

【選評】

森本さんの歌は海から帰ってきての作品。思い出の海を作者と、枕にしている浮き輪が泳いでいます。夏の思い出を楽しく共有させてもらいました。

準前田純孝賞

筆先を青空に向け見つめてる空色の絵の具かくむ気がして

兵庫県新温泉町立浜坂中学校

三年 岡村菜々

通学に慣れた僕なら行けそうだと心なげ遠く山へも海へも

同志社中学校

二年 岡 純平

息継ぎのその瞬間に太陽と目が合う三時間目の体育

大阪府大阪市立南高等学校

三年 河本成美

青空に向かって飛んだ白球が歓声に押されフェンスを越える

鹿児島県立鹿児島工業高等学校

三年 宮田海聖

選者賞

秋風になびくその髪触れたくて触れられなくて思い出となる

愛知県立名古屋巖学校

二年 近藤優衣

コロナ禍で新たな距離が生まれてく人と人とも心の中も

同志社中学校

二年 石丸開登

花つけた袖の短い制服を最後に一度きっちり着る

大阪府立夕陽丘高等学校

三年 三村夏帆海

放課後に筆をはしらせ絵描くのは誰もわからぬ私のニコ

兵庫県姫路市豊富小中学校

八年 木山真里南

剣を振り邪魔な心を切り捨てる自分の道を信じて進む

兵庫県立南あわじ市立三原中学校

二年 鳥坪誠禮

新温泉町長賞

世の中が善悪だけで表せるほどに単純ならばいいのに

宮城県仙台市立郡山中学校

三年 阿部航輝

流行とバスにつっかり乗り遅れてしまったために遅刻しました

宮城県仙台市立郡山中学校

二年 小野真甫

ひとかじりぼけたりんごを食べながらふと思いつくすいちゃんの顔

長野県上伊那農業高等学校

三年 小原春菜

秋の日の僕らの時間はせわしないてんとう虫が肩に止まった

同志社中校

二年 原口寧々

あと一分かじかむ手先で舞台へと共に挑もうモーツァルト

大阪教育大学附属平野中学校

一年 引地奏葉

会えぬ間に心にすみたるきみの影と月の下にてダンスを踊る

兵庫県立伊丹高等学校

二年 竹内琴子

ふるさとの盛んに伸びた稻たちが空っぽになり冬だけを待つ

大分県竹田市立直入中学校

三年 大濱日奈子

渡り鳥いのちを賭したその先でわたしの生きた町を見るのか

熊本県立済々黉高等学校

二年 森下 優

日傘をす母まで届け本塁打精一杯の想いをのせて

鹿児島県立鹿児島工業高等学校

一年 松元 優

海へ行きみんなで泳ぎスイカを食べるそんな夏を過ごしたかった

沖縄県立読谷高等学校

三年 當真理子

【新温泉町教育長賞】

会いたくて会いたくなくて会いたいの振り子時計の振り子のように

群馬県立勢多農林高等学校

三年 江原 楓

満月を見ながら歩く熟婦り私を見つめるいい機会かな

岐阜県川辺町立川辺中学校

一年 川崎愛心

弟の生まれた命あの瞬間五歳の私は姉に変わった

岐阜県川辺町立川辺中学校

二年 丸山芽生

トントントントシューシューシューパップパップ部屋いっぱい幸せ香る

滋賀短期大学附属高等学校

三年 中村美結

観てみてよ人の心は光ってる近くなのに見えないところ

同志社中学校

二年 山本卓哉

あと何回登校したら終わるだろうまだ着ていたい夕さい制服

大阪府立摂津高等学校

三年 齊藤美憂

ファイトと死にかけながら声を出すそんな日々が青春だった

大阪府立摂津高等学校

三年 樽谷青依

同じ道学校向かい歩くけど毎日違う一日が来る

大阪教育大学附属平野中学校

一年 東野寿々嘉

夕焼けに染まる君の背いとしくってわたしのこころもきみに染まる

大阪教育大学附属平野中学校

二年 栗山くる美

弦をひき思いをのせる私の矢光が照らす矢先の行方

鹿児島県立鹿児島工業高等学校

一年 川崎優花

【神戸新聞社賞】

いいネタが思いついてもまともならず三十一文字は消しかすのよう

静岡県静岡市立清水第二中学校

二年 藤田亜子

帰り道夕日が映る川の上いつもとちがいがゆっくり走る

岐阜県川辺町立川辺中学校

一年 松原颯南

コロナの中換気の風と暖房の二つの風が私にあたる

同志社中学校

二年 平井悠陽

空見上げまぶしそつにする仲間たち最新トロンでアルバム写真

大阪府立摂津高等学校

三年 中澤麻友

恒例の提灯街道なりひそめ今年は聞えぬたんじりの声

大阪府大阪市立南高等学校

三年 南野ひより

一昨日も昨日も今日もここに眠かれたマスク気にもされずに

兵庫県立浜坂高等学校

二年 岡本莉実

教室の窓辺で揺れるカーテンをあの青空で染めてみたいな

兵庫県姫路市立豊富小中学校

八年 深田朱華

一匹で踊る金魚よそのドレス誰に見せるの水槽の中

兵庫県三田市立狭間中学校

二年 小林奈々花

バスの中今日が最後の部活動終点までは思い出話

鳥取県立八頭高等学校

三年 西村朋子

思い出す黒土落ちる青時雨感謝を込めてグラウンドに礼

鳥取県立八頭高等学校

三年 中原翔太

【佳作】

シヤケをくれ必死な猫の手ちよんちよんちよんこらつと母が日曜の夜

群馬県立勢多農林高等学校

三年 山田朱莉

紅葉散るベンチの脚をきしませてツルゲーネフの表紙をひらく

埼玉県星野高等学校

三年

野城知里

農場で丸ごと焼いたしいたけをかじると嫌いなことを忘れる

長野県上伊那農業高等学校

三年

渡邊士雄

舞台袖心臓の音がうるさいが自分に向けて深呼吸一つ

長野県上伊那農業高等学校

二年

大河原優渚

盛りすぎて今に破れるクレープの緊張感で僕は楽しむ

長野県上伊那農業高等学校

三年

山下暉斗

次回から二年に任ず測定はもうできないと子牛抱きしめ

長野県上伊那農業高等学校

三年

河合千晴

炎天下飛驒川にうつる米田富士緑がかつた鏡のように

岐阜県川辺町立川辺中学校

一年

道家佑斗

ザーザーと降る雨の中歩くとき強く打たれる私の心

愛知県立名古屋簗学校

二年

上野 遥

ももいろの消えてしまった吾の期待炭酸抜けたピーチサイダー

愛知県立名古屋簗学校

二年

近藤実優

独特な文法の手話先生の手を焼く五人の盛り上がりぶり

愛知県立名古屋簗学校

二年

竹元愛梨

夏休み外出自粛ひまわりのジグソーパズルで旅行気分

愛知県立名古屋簗学校

三年

山口詩織

初めてのグローブはもう小さくてそれでもオイルで手入れをしてる

愛知県立立豊橋西高等学校

一年

中村颯汰

艇の声聴けばお前は 目を開ける余所見はするな「行こう相棒

愛知県立旭丘高等学校

一年

渡邊美愛

青春といふはあまりに逃げやすし肩に寝てゐる友の口から

滋賀県洛南高等学校

二年

釜江康太

眠たくてポーっとする朝耳を澄ませば二重縄跳び風の切る音

同志社中学校

二年

秦 悠莉

寒くなりいろんな歌がしみる時期少し楽しい一人の帰り道

大阪府立摂津高等学校

三年

白石 峻

ディスタンス去年までは英単語世界が一変皆知る言葉

大阪国際滝井高等学校

三年

砂尾二菜

帰り道友と並んで歩く道カイロ代わりの肉まん割って

大阪府立夕陽丘高等学校

三年 星原日向子

茶の香り鼻をくすぐる日本間で茶筌でかなてるさよなみのおと

大阪府立夕陽丘高等学校

一年 北山美葵

先輩が帰ったあとに少しだけ見よう見まねで叩いたドラム

大阪府立夕陽丘高等学校

一年 大下紗和花

街中でふと目につくのは六角形今日の授業のペンゼン思っ

大阪府立夕陽丘高等学校

三年 藤本実瑚

教室に並んで座る影二つ君はギターを私は歌を

大阪府立夕陽丘高等学校

三年 武藤なるみ

一音目歌った瞬間感ずるのホールと私一つになれる

大阪府立夕陽丘高等学校

三年 井上花音

終演後無人の客席広い舞台あの練習はここで弾けた

大阪府立夕陽丘高等学校

三年 川崎 梓

時が経ち少しくずれたフリーツとあとちょっとだねこの制服も

大阪府立港南造形高等学校

三年 姫川 碧

おはよう」と声をかければいちばんに返事をくれるうちの鳥たち

大阪府立港南造形高等学校

三年 山田 柚菜

夜の道歩く私に前からは栗取りに来たイノシシの影

兵庫県姫路市立広嶺中学校

二年 赤松優衣

正月の百人一首「れや」のせみまるの札探せぬままに

兵庫県三田市立狭間中学校

二年 吉田 圭汰

なじみある音楽きこえ外へ出るほくほくの辛ほつぱり笑顔

兵庫県三田市立狭間中学校

二年 山際 ゆうな

欠し「ぶり」エアタッチでも嬉しくてみんなに会える学校が好き

兵庫県立浜坂高等学校

三年 西阪 真歩

大好きなクツピーラムネ今日もまた最後に残す。ピンクのいちご

兵庫県南あわじ市立三原中学校

二年 恵本 七乃香

心臓と雨の音しか聞こえない授業さぼって昼まで寝ようか

兵庫県自由ヶ丘高等学校

二年 判田 隆太

暑い日に京都で食べたかき氷山の緑に似た宇治抹茶

兵庫県自由ヶ丘高等学校

一年 山口 颯太

下校道雨のにおいと湿しり合い微かに香る梔子の花

兵庫県神戸市立神港橋高等学校 二年 名里彩夏

青春の真つ只中の今だから気づける」と言いつけなさい」と

兵庫県神戸市立神港橋高等学校 二年 西村百々花

最終日 また遊ぼう」と言いつつさらに答えられずにつつむくわたし

兵庫県新温泉町立浜坂中学校 二年 島田陽菜

早朝の日の出の前の枯れ葉道のししを見て止まる心臓

兵庫県新温泉町立浜坂中学校 三年 仲村亮平

あこがれの先輩と吹くトロンボーンいつか越えたい先輩の音

兵庫県新温泉町立浜坂中学校 一年 松岡沙希

クリスマスサンタが親だと知りつつもくつ下にまだ夢を見ている

兵庫県新温泉町立夢が丘中学校 二年 岡田華

十二月一年ぶりのストーフが吐き出すほこりと去年のにおい

兵庫県新温泉町立夢が丘中学校 三年 瀧本和

びしょ濡れの靴と靴下干しながら裸足のままで過す教室

兵庫県立姫路工業高等学校 三年 宮崎桃花

まぶしくて瞬きをしたその隙に人混みに消えた君の横顔

兵庫県神戸市立六甲アイランド高等学校 二年 片山紅緒

足速にかけこみ座るバス座席君の隣が今日のはじまり

兵庫県神戸市立六甲アイランド高等学校 二年 永井優渚

意志のない私はいつも金魚のふんついていきたいわけじゃない

鳥取県立八頭高等学校 三年 山中菜央

五分だけ未読無視でもしようかな私そんなに暇じゃないから

岡山県瀬戸内市立邑久中学校 二年 那須楓花

夕暮れの空を仰いで君を待つ一等星はまだ現れず

大分県竹田市立直入中学校 三年 大塚琉花

卒業式コロナウイルスで短くなり感極まらない友との別れ

鹿児島県立鹿児島工業高等学校 一年 橋口優斗

やり直しくじけながらもあける穴アルミとともに頬が黒ずむ

鹿児島県立鹿児島工業高等学校 一年 服部宏輔

ありがとっ祖父にもらった千円札これが最後の祖父との会話

鹿児島県立鹿児島工業高等学校 三年 豎山紋与

朝起きてあたりまえにあるごはんには祖母の日常の営みがある

鹿児島県立鹿児島工業高等学校

二年 宮内清春

冬風が顔に刺さって赤らむ鼻冬が過ぎれば花咲くデイゴ

沖縄県立読谷高等学校

三年 前泊孝哉

かっ「いい母の姿に憧れて私もいつかキャリアウーマン

沖縄県立読谷高等学校

三年 島袋実優

大学生の部

選者 佐佐木幸綱（「心の花」主宰・編集長）

【選評】 今年はず想通り、新型コロナウイルスにかかわる歌が多くありました。オンライン授業の歌、

マスクの歌…。そうした題材の作を各賞に少なからず選ばせていただきました。

前田純孝賞

六法に蛍光色の行増やす未来支える柱のよつに

早稲田大学 一年 桐生莉緒

【選評】 司法試験を受験するのでしようか、『六法全書』と取り組んでいる作品です。蛍光ペンでマ

ークした行の林立を、自分の未来を支える柱のようだとした表現的工夫は、なかなかのものだと読みました。ぜひ、いい未来を築いてください。

【準前田純孝賞】

悩むこと無い人だね」と占い師手相に本当の私はいない

青山学院大学

四年 加藤美帆

沈黙の配架に慣れて先輩の横でまっすぐ踵を上げる

筑波大学

一年 豊富瑞歩

【選者賞】

マスク越し平安貴族がしたように顔も見えないのに恋をしている

川崎医療短期大学

一年 柳瀬諒汰

目を開けたら世界に自分一人かも急いでシャンプー流し開ける目

青山学院大学

三年 小舟菘

あの人は権力批判してるのに自分の母に逆らえないの

国際教養大学

四年 森本千陽

【新温泉町町長賞】

幼少期お世話になった保育園次は私が見守る立場

頌栄短期大学

二年 財田 星

白衣着て授業を受けて憧れのナース気分だ資格はないが

川崎医療短期大学

一年 山下愛佳

息をするたびにペコペコするマスク人間もえら呼吸している

青山学院大学

二年 福井花菜

どなたかの顔の形を記憶したマスクが踏まれる瞬間を見た

青山学院大学

三年 竹田菜純

教科書に「年生」と書きながら受け入れてゆく新しい春

大阪市立大学

一年 赤松みなみ

新温泉町教育長賞】

鮮やかな君との記憶一言で崩れ始めてモノクロになる

川崎医療短期大学 一年 青野 瞳

帰り道夕日に染まった大山を友と眺める青春だった

川崎医療短期大学 一年 加藤 萌花

軒先に雀ら集い雨宿り もつすぐ春だね」なんて言いつつ

東京理科大学 四年 黒木 悠矢

引越しは故郷が増えるという言葉胸に電車で新たな町へ

青山学院大学 三年 高橋 佳奈

先輩のサッカーをみる特等席誰も知らない図書館の隅

青山学院大学 四年 山田 玲温

神戸新聞社賞】

まかないは今日はあるかなシフト表確認しながらバイトに向かう

頌栄短期大学 二年 小川 紗友梨

オンライン不慣れな私絶望し対面授業願うばかりだ

川崎医療短期大学 一年 山本 遥伽

君にあるB面みたいな雰囲気になるのだマスクを外した顔が

青山学院大学 四年 堀口 元貴

君もまた暇なんだろうと誘われたクリスマスマーケットのアルバイト

鹿児島大学 二年 石井 颯悟

オカンには春という春が似合ってるぞと買ったたん薔薇柄マスク

京都大学 四年 高橋 連

【学校特別賞】

大阪府立夕陽丘高等学校 鹿児島県立鹿児島工業高等学校 青山学院大学 同志社中学校

【学校賞】

岐阜県川辺町立川辺中学校 大阪教育大学附属平野中学校 兵庫県姫路市立広嶺中学校

大阪府立摂津高等学校 兵庫県立浜坂高等学校 川崎医療短期大学 兵庫県南あわじ市立三原中学校

滋賀短期大学附属高等学校